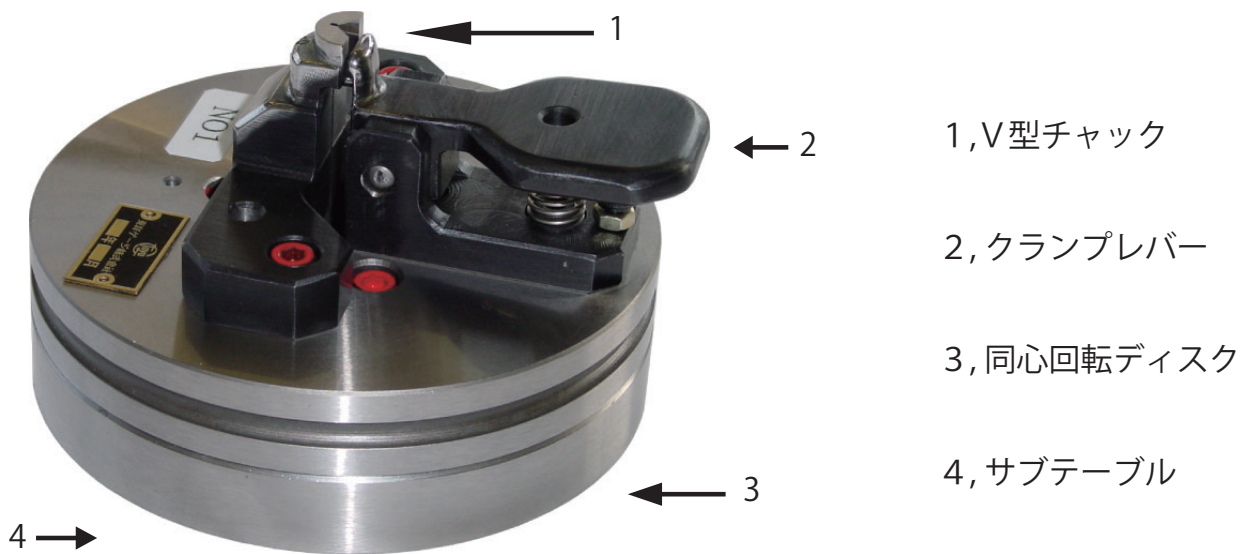




V型チャック+同心回転ディスク 面振れ測定器



1, V型チャック

2, クランプレバー

3, 同心回転ディスク

4, サブテーブル

機械産業は21世紀に入り、より高度の技術システム化が要求されています。情報・メカトロニクス分野においては、より高い品質を保証するために各種構成部品の高精度化が求められています。これらの中で、回転体部品の面振れ精度評価は重要な課題となっています。

弊社の超精密加工組立技術により開発された同心回転ディスクとV型チャックを組み合わせた面振れ測定器を使用することにより面振れの精度評価に、より高いレベルの品質保証が実現できます。

用途

DV機器、高密度ストレージなどの小型回転部品の面振れ測定

主な仕様

本体：V型チャック・同心回転ディスク（ $\phi 120$ ）

チャッキング範囲： $\phi 3 \sim \phi 10$ mm

チャッキング長さ： $L = \phi D X (2.5 \sim 1.5)$ mm

[$\phi 3 \rightarrow 8$ mm. $\phi 10 \rightarrow 15$ mm]

総合 面振れ精度： $1 \mu\text{m}$ （マスタにて）